

部長会議付議事案書(令和 8 年 7 月 2 日)

No.		(1) 事案名		(2) 提案趣旨（要点をまとめて簡潔に）	
報告		I 指定管理者の令和7年度事業報告について		令和4年度及び令和5年度に指定管理者制度に移行した施設について、令和7年度の事業等について、報告するものです。	
提案課・報告者			資料		
行政経営課		原	徳郎	有	
公園課		吉田	等		
文化振興課		久保谷	敏行		
スポーツ推進課		長島	秀樹		
観光振興課		川口	庸一		

[illegible]

1

令和7年度指定管理施設 自己評価・内部評価及び収支報告（1／2）

(1) 自己評価・内部評価

施設名		カルチャーパーク・NITTANパークおおね				クアーズテック秦野カルチャーホール				はだの丹沢クライミングパーク				表丹沢野外活動センター			
指定管理者		ミズノグループ				みんなの文化会館 はだのパートナーズ				神奈川県公園協会・ 小田急電鉄共同事業体				MGMグループ			
指定管理期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日												令和5年4月1日～令和10年3月31日			
評価項目		R6		R7		R6		R7		R6		R7		R6		R7	
		自己	内部	自己	内部	自己	内部	自己	内部	自己	内部	自己	内部	自己	内部	自己	内部
1	施設の維持管理 (6項目18点)	13	13	13	13	13	13	13	14	13	12	14	13	12	13	12	13
2	施設の運営 (7項目21点)	16	15	16	16	17	17	16	16	17	17	18	18	14	14	15	16
3	危機管理対応 (2項目6点)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	指標の達成状況・ 改善の取組み (2項目6点)	4	4	4	4	4	4	4	4	-	-	-	-	4	4	4	4
5	サービス向上の 取組み (8項目24点)	20	21	20	21	16	16	16	18	19	20	20	20	18	18	17	18
6	収支状況 (2項目6点)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計 ※ 満点は81点		61	61	61	62	58	58	57	60	57	57	60	59	56	57	56	59
達成率		75.3%	75.3%	75.3%	76.5%	71.6%	71.6%	70.4%	74.1%	76.0%	76.0%	80.0%	78.7%	69.1%	70.4%	69.1%	72.8%

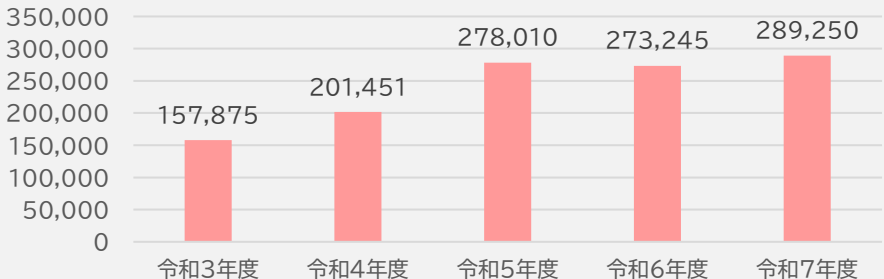
内部評価の
達成状況1点
1.2ポイント UP2点
2.5ポイント UP2点
2.7ポイント UP2点
2.4ポイント UP

【備考】・標準点は54点(66.6%) ※ 全ての評価項目が「要求水準を満たしている(2点)」とした場合の合計点
・はだの丹沢クライミングパークの第1期指定管理期間は指標を設定していないため、「4 指標の達成状況・改善の取組み」の評価を除く。

(2) 収支報告(千円)

施設名	カルチャーパーク・NITTANパークおおね				クアーズテック秦野カルチャーホール				はだの丹沢クライミングパーク				表丹沢野外活動センター			
	R6		R7		R6		R7		R6		R7		R6		R7	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
1 指定管理料	290,400	290,400	289,300	289,300	140,136	140,136	133,419	133,419	21,301	21,301	20,891	20,891	39,990	39,990	39,990	39,990
2 利用料金	122,444	90,904	126,118	88,592	4,000	5,083	500	244	6,760	9,195	6,760	9,429	12,998	18,020	15,408	19,417
3 自主事業	13,134	12,077	13,134	14,134	9,600	6,668	1,795	2,241	379	290	379	284	4,270	5,802	4,299	7,723
4 その他	4,290	28,619	4,290	28,253	21	534	0	326	0	0	0	0	170	162	86	88
計	430,268	422,000	432,842	420,279	153,757	152,421	135,714	136,230	28,440	30,786	28,030	30,604	57,428	63,974	59,783	67,218
支出	R6		R7		R6		R7		R6		R7		R6		R7	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
1 人件費	70,115	72,209	70,878	77,023	33,660	36,659	40,246	36,459	19,044	19,734	19,044	21,594	26,520	29,855	27,779	30,311
2 維持管理経費	326,493	350,224	328,722	340,346	87,495	72,335	89,280	84,533	4,230	3,991	4,309	3,321	30,562	30,870	28,187	29,304
3 自主事業	10,532	8,815	12,607	9,518	10,716	11,201	6,178	4,677	0	0	0	0	346	1,903	3,817	6,556
4 その他	23,128	20,702	20,635	20,590	21,886	19,627	10	0	5,166	6,375	4,677	5,822	0	0	0	0
計	430,268	451,950	432,842	447,477	153,757	139,822	135,714	125,669	28,440	30,100	28,030	30,737	57,428	62,628	59,783	66,171
(収入－支出)	0	▲29,950	0	▲27,198	0	12,599	0	10,561	0	686	0	▲133	0	1,346	0	1,047

カルチャーパーク・NITTANパークおおね

(1) 指定管理者	ミズノグループ												
(2) 指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(4年目)												
(3) 利用者数(人)	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>157,875</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>201,451</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>278,010</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>273,245</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>289,250</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(人)	令和3年度	157,875	令和4年度	201,451	令和5年度	278,010	令和6年度	273,245	令和7年度	289,250
年度	利用者数(人)												
令和3年度	157,875												
令和4年度	201,451												
令和5年度	278,010												
令和6年度	273,245												
令和7年度	289,250												

(4) 評価	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理 (6項目18点)	13 協定書や仕様書等に従い、日常点検や定期点検等を重視し利用者にとって安心安全な施設運営を行った。	13 施設管理が適切に行われ、利用者の安全・快適性が良好に保たれている。各施設の維持管理については、修繕計画を市と共有の上、予算内で効率的に行われている。
2 施設の運営 (7項目21点)	16 市内事業者の活用や市民の雇用で地域経済の活性化を図っている。人気傾向にあるピククルボールを自主事業に取り入れるなど、柔軟なプログラムを展開している。	16 継続した市内業者への発注や市民雇用が行われているほか、独自性のある新規事業を企画することが評価できる。引き続き利用促進等を図ってもらいたい。
3 危機管理対応 (2項目6点)	4 事故発生時は迅速に処理対応し、都度報告している。	4 市へ速やかに報告があり、適切に処理されている。
4 指標の達成状況・改善の取組み (2項目6点)	4 実利用者集計で令和6年度「648,333人」から令和7年度「647,833人」に500人減少しており、LED工事に伴う閉館の影響が考えられる。	4 利用者数は当初目標における「年間利用者数31万人」に対して未達成の状況ではあるが、昨年度に比べて増加傾向にある。
5 サービス向上の取組み (8項目24点)	20 利便性の高い案内表示やキャッシュレス決済で利便性を向上させるとともに、スタッフの接客対応に注力した。また利用者からの意見を取り入れ、改善につなげた。	21 苦情対応等は施設内で統一性を意識しながら、連携を強化し、接客改善が図られている。翻訳機の設置やキャッシュレス決済等で利便性の向上に取り組んでいる。
6 収支状況 (2項目6点)	4 光熱水費・人件費や物価高騰に伴い支出のコントロールに苦慮した。	4 一部の予算未達の項目はあるが、自主事業等が改善されており、収支計画書に基づいた予算執行が適切に行われている。
計(81点中)	61点	62点
達成率	75.3%	76.5%



(5) 総評

【指定管理者所見】

物価高騰や改修工事に伴い、当初の計画に基づいた経営が困難な部分があった。

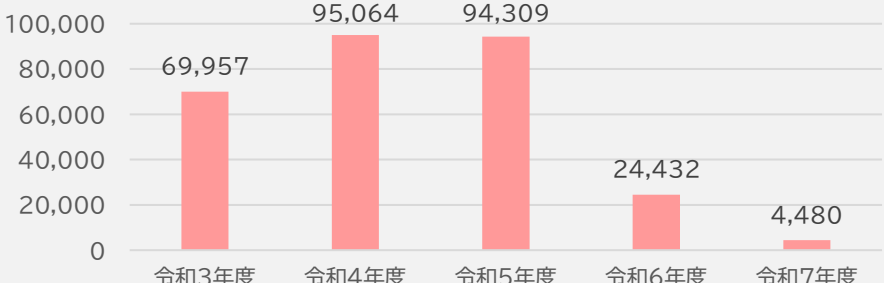
そのような環境下においても、施設等の修繕は、綿密な計画により利用者への負担を最小限に抑え、安全安心な施設運営を行った。

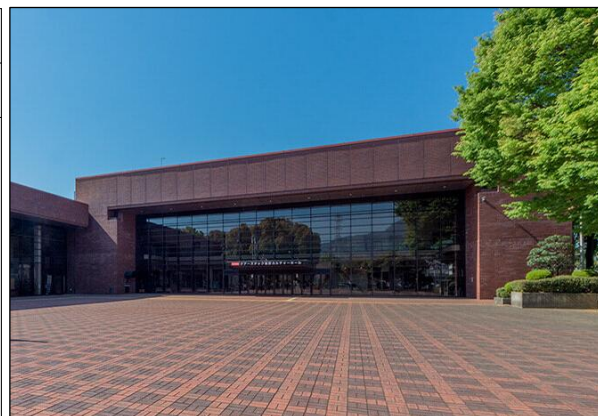
【所管課所見】

指定管理期間が4年目となり、利用者への対応や新たな自主事業の取組み、外部評価委員会等からの意見を受けての改善等を踏まえ、安定した経営が図られている。

数値の未達成事項については、アンケートでの利用者からの声を活かすなどして、さらなるサービスの向上等で実現を図ってもらいたい。

クアーズテック秦野カルチャーホール

(1) 指定管理者	みんなの文化会館はだのパートナーズ												
(2) 指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(4年目)												
(3) 利用者数(人)	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>69,957</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>95,064</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>94,309</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>24,432</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>4,480</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(人)	令和3年度	69,957	令和4年度	95,064	令和5年度	94,309	令和6年度	24,432	令和7年度	4,480
年度	利用者数(人)												
令和3年度	69,957												
令和4年度	95,064												
令和5年度	94,309												
令和6年度	24,432												
令和7年度	4,480												



(4) 評価	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理 (6項目18点)	13 保守点検は法令に基づき実施。開館に向けた総点検のほか、改修工事業者との連携を図った。	14 休館期間の積極的な物品管理に取り組むとともに、通常時はできない舞台備品の保守点検を行った。
2 施設の運営 (7項目21点)	16 館外に出向くアウトリーチ型事業に取り組み、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。	16 アウトリーチ型事業に取り組むほか、市の事業との連携を積極的に図った。リニューアルオープンを並行した、新予約システムの対応で間に合わない部分があった。
3 危機管理対応 (2項目6点)	4 消防計画に則り防災訓練を実施し、安全安心な状態で開館を迎えた。	4 日常点検、巡回警備、施設や備品の点検等を実施し、停電の際も迅速に対応した。
4 指標の達成状況・改善の取組み (2項目6点)	4 アウトリーチ事業には延べ1,300人以上が参加。アンケートは満足度約99%と非常に高い結果が得られた。	4 事業計画の事業動員数(2,940人/年)には届かなかったが、利用者の満足度が高く、開館後の事業が期待される。
5 サービス向上の取組み (8項目24点)	16 休館期間も利用団体の活躍を自社媒体で広報する等、サービスの充実に努め、文化会館事業のPRを図った。	18 継続した広報宣伝事業に取り組むとともに、地元人材を活用した事業展開を行った。
6 収支状況 (2項目6点)	4 維持管理業務の適正化、自主事業や簡易修繕の内製化を図るとともに、アウトリーチ型事業では自社ホールの使用等で費用対効果を高めた。	4 休館や物価高騰の影響がある中で、自主事業を実施しつつ、黒字となったことは評価できる。
計(81点中)	57点	60点
達成率	70.4%	74.1%

(5) 総評

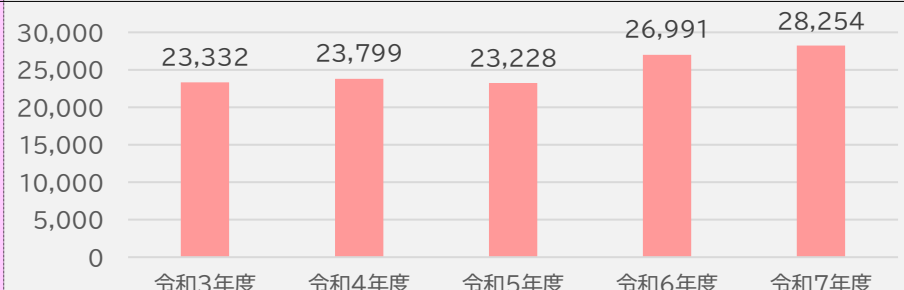
【指定管理者所見】

休館により事業を制約された中で創意工夫を凝らし、最大限の文化振興事業を継続した。また、大規模改修後の原状復帰、開館に向けた準備や人員確保等の課題を整理し、開館を迎えることができた。

【所管課所見】

休館という特殊な状況の中で、アウトリーチ型事業を展開することで、市民へ芸術鑑賞の機会を提供した。開館後は、アウトリーチ型事業の波及効果を生かした来館者増加及び利用促進を期待したい。

はだの丹沢クライミングパーク

(1) 指定管理者	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体												
(2) 指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(4年目)												
(3) 来場者数(人)	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>23,332</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>23,799</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>23,228</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>26,991</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>28,254</td> </tr> </tbody> </table>	年度	来場者数(人)	令和3年度	23,332	令和4年度	23,799	令和5年度	23,228	令和6年度	26,991	令和7年度	28,254
年度	来場者数(人)												
令和3年度	23,332												
令和4年度	23,799												
令和5年度	23,228												
令和6年度	26,991												
令和7年度	28,254												



(4) 評価	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理 (6項目18点)	14 施設の不具合や劣化を遅滞なく対応する等、適切な維持管理を行った。	13 施設の適切な維持管理が図られているが、修繕の未然防止策についても心掛けてもらいたい。
2 施設の運営 (7項目21点)	18 コーチ資格者を5人(1人増)配置した安全な運営と、HP・SNSを活用した利便性の向上を図るとともに、地域連携を強みとした事業を展開した。	18 安全な運営の徹底と、ニーズを的確に把握した利便性の向上により、リピーター層の獲得を図った。また、地域資源の活用・運動により、次世代の選育育成にも貢献した。
3 危機管理対応 (2項目6点)	4 事故対応の体制を確立するとともに、事故防止の啓発のため、声掛けを意識して取り組んでいる。	4 事故発生時の対応のほか、初めての利用者には、より丁寧な説明を心掛けている。(令和7年度事故報告1件)
4 指標の達成状況・改善の取組み (2項目6点)	-	-
5 サービス向上の取組み (8項目24点)	20 SNSやキャッシュレス決済の活用で利便性を高めるとともに、周辺施設との連携を図る事業を展開した。利用者アンケートで、高い満足度を評価されている。	20 利用者からの意見を適宜反映させ、質の高い環境整備を行ったことで、利用者の満足度上昇につながった。利用促進を図るため、情報発信の内容の拡充を期待したい。
6 収支状況 (2項目6点)	4 利用収入の増加に取り組むほか、植栽、ワックスがけ、洗浄作業等を業務直営化して支出の抑制を図った。	4 事業運営については収支ともに工夫されているが、人件費において令和7年度に県の給与改定があったことから、支出が増加することとなった。
計(75点中)	60点	59点
達成率	80.0%	78.7%

(5) 総評

【指定管理者所見】

県山岳連盟や小田急電鉄㈱との連携、山岳スポーツセンターや秦野戸川公園等の周辺施設との事業展開により普及啓発に努め、来場者数は計画の目標値を達成した。

さらに、利便性と利用環境の向上を継続し、適切な施設管理と魅力創出に取り組んだ。

【所管課所見】

多世代が楽しめるイベントを多岐にわたり実施するなど、クライミング普及に努めることで、来場者数は目標を達成したが、財政面では支出の圧縮を工夫しながらも、赤字となった。

今後は平日の利用拡大と利用者ニーズを捉えた魅力ある事業の展開を期待したい。

表丹沢野外活動センター

(1) 指定管理者	MGMグループ												
(2) 指定管理期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(3年目)												
(3) 利用者数(人)	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4,419</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7,693</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>11,870</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>13,079</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>14,090</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数(人)	令和3年度	4,419	令和4年度	7,693	令和5年度	11,870	令和6年度	13,079	令和7年度	14,090
年度	利用者数(人)												
令和3年度	4,419												
令和4年度	7,693												
令和5年度	11,870												
令和6年度	13,079												
令和7年度	14,090												



(4) 評価		自己評価		内部評価	
1	施設の維持管理 (6項目18点)	12	施設の維持管理や修繕、衛生管理等を適切に行った。	13	施設の清潔感について、利用者から高い満足度を評価されている。施設の不具合等、優先度をつけたうえで適切に維持管理されている。
2	施設の運営 (7項目21点)	15	新たに雨天対応型バーベキューサービスを導入し、従来よりも予約割合が高い水準となっている。また、いろいろ棟は設備の再整備を図り、予約件数を31%向上させた。	16	サービス向上を目的とした整備工事を行うとともに、地域の特色を生かしたジビエのイベント等、話題性のある事業に取り組んだ。
3	危機管理対応 (2項目6点)	4	緊急対応マニュアルを見直し、更新を行うことで、常に改善に努めている。	4	緊急対応マニュアルに基づいた訓練や、遊具点検の実施等、事故防止の対応に取り組んでいる。
4	指標の達成状況・改善の取組み (2項目6点)	4	計画、指標に対して適当であった。	4	消防点検の指摘事項について、迅速な改善が図られた。
5	サービス向上の取組み (8項目24点)	17	国内最大級のキャンプサイトでは良好な評価が維持されており、県内キャンプ場おすすめ順位3位/105位となったほか、ジビエを生かした事業に取り組んだ。	18	丁寧な接客により、利用者アンケートでは高い評価を得ている。マナーが守られていない団体等の事例があることから、ルールの周知徹底が求められる。
6	収支状況 (2項目6点)	4	いろいろ棟の設備や雨天対応型バーベキューサービス等の売上向上施策等により、収入を確保している。	4	人件費高騰や設備投資による支出増に対して、自主事業等による収入の確保で、適切な財政状況が保たれている。
計(81点中)		56点		59点	
達成率		69.1%		72.8%	

(5) 総評

【指定管理者所見】

売上向上施策として、いろいろ棟の再整備、雨天対応型のバーベキュー設備を導入したことで支出が増加したが、次年度以降の収入増を見込み、魅力ある取組みを継続する。

また、運営では水準を満たしつつ、サービス全体の改善と向上を実施できる体制となってきた。

【所管課所見】

指定管理期間の折り返しを迎え、自主事業の拡充により利用者増と高い満足度を維持している。今後は山岳アクティビティの拠点として、体験プログラムの充実を図るなど、更なる魅力向上の推進を期待する。

3 参考・指定管理者制度に係る手続 スケジュール

No.	項目		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1	指定管理者制度導入	手続	← 募集期間 →			第1次審査			議員への情報提供			指定管理候補者の選定			指定管理者の指定			公告・ホームページ公開			指定管理者制度導入に向けた調整 基本協定の締結(～4/1)																	
		※ 指定管理制度導入時は募集前に条例の制定が必要。						第2次審査			選定評価委員会からの答申																											
	庁議	付議事案書の提出(行政経営課取りまとめ)						政策部長調整会議			政策会議						議決																					
2	指定管理者更新	手続	← 募集期間 →			第1次審査			議員への情報提供			指定管理候補者の選定			指定管理者の指定			公告・ホームページ公開			次期指定管理期間に向けた調整・引継ぎ 基本協定の締結(～4/1)																	
								第2次審査			選定評価委員会からの答申																											
	庁議	議案提出(各課対応)						部長ヒアリング、市長査定						議決																								
3	例年の手続	年度協定の締結(4/1)						付議事案書の提出			第1回指定管理者連絡会 (議題があれば)						付議事案書の提出			第2回指定管理者連絡会 (次年度の事業計画ほか)																		
								政策部長調整会議			部長会議(前年度の事業報告)						政策部長調整会議			部長会議(次年度の事業計画)																		
		事業報告書の作成 自己評価、内部評価						外部評価			事業報告&評価のHP公開 (各所管課にて対応)						事業計画書の作成			事業計画のHP公開 (行政経営課にて対応)																		
※ その他 … 指定管理期間2年目で労働条件審査、指定管理期間3年目で財務状況点検を実施するもの。⇒ 結果はホームページで公開するもの。																																						

4

参考・指定管理者モニタリング年表

指定管理期間2年目 労働条件審査(■)、指定管理期間3年目 財務状況点検(◎)、外部評価は毎年実施するもの。

No.	施設名／年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	
1	秦野市老人いきいの家 (4施設)		第5期(R5.4～R10.3)						第6期(R10.4～R15.3)					第7期(R15.4～R20.3)					第8期 (R20.4～R25.3)	
		労働条件審査、財務状況点検は実施なし。毎年、外部評価のみ実施。																		
2	秦野市里山ふれあいセンター	第4期(R2.4～R7.3)			第5期(R7.4～R12.3)					第6期(R12.4～R17.3)					第7期(R17.4～R22.3)					
						■	◎				■	◎				■	◎			
3	秦野市名水はだの富士見の湯	第2期 (R2.10～R5.9)	第3期(R5.10～R8.9)			第4期(R8.10～R13.3)				第5期(R13.4～R18.3)					第6期(R18.4～R23.3)					
					■	◎		■	◎			■	◎				■	◎		
4	秦野市カルチャーパーク	第1期(R4.4～R9.3)					第2期(R9.4～R14.3)					第3期(R14.4～R19.3)					第4期(R19.4～R24.3)			
			■	◎				■	◎				■	◎				■	◎	
5	NITTANパークおおね (秦野市立おおね公園)	第1期(R4.4～R9.3)					第2期(R9.4～R14.3)					第3期(R14.4～R19.3)					第4期(R19.4～R24.3)			
			■	◎				■	◎				■	◎				■	◎	
6	クアーズテック秦野 カルチャーホール (秦野市文化会館)	第1期(R4.4～R9.3)					第2期(R9.4～R14.3)					第3期(R14.4～R19.3)					第4期(R19.4～R24.3)			
			■	◎				■	◎				■	◎				■	◎	
7	はだの丹沢クライミングパーク	第1期(R4.4～R9.3)					第2期(R9.4～R14.3)					第3期(R14.4～R19.3)					第4期(R19.4～R24.3)			
			■	◎				■	◎				■	◎				■	◎	
8	秦野市表丹沢野外活動センター		第1期(R5.4～R10.3)						第2期(R10.4～R15.3)					第3期(R15.4～R20.3)					第4期 (R20.4～R25.3)	
				■	◎				■	◎				■	◎				■	

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象 年 度	令和7年度	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで			
施設名	カルチャーパーク・ NITTANパークおおね	指定管理 期 間	令和4年4月1日 から 		

【自己評価及び内部評価の基準】

- 3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
- 2 要求水準を満たしている。
- 1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
- 0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】

- 《大変良好》
管理・運営は大変良好で、また優れた取り組みの成果がある。
- 《良 好》
管理・運営は良好である。
- 《概ね良好》
管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
- 《要 改 善》
管理・運営に課題があり、改善が必要である。

1 施設の維持管理

項目	評価視点	配点	自己 評価	内部 評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 協定書や仕様書等に従い、日常点検や定期点検等を重視し利用者にとって安心安全な施設運営を行っている。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	2	2	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	3	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	2	2	【内部評価】 施設の維持管理については、適切に行われており、利用者から苦情も概ねなく、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。 各施設の老朽化については、指定管理者が修繕の優先度リストを作成し、市と共有しながら限られた予算の中で施設の修繕・更新を行っている。
第三者委託	第三者への委託に係る取扱いは、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取り組みを行っている。	3	2	2	
小計		18	13	13	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	2	2	【自己評価】 修繕の際には積極的に市内業者を活用し、従業員の雇用についても継続して秦野市民を採用している。 人気が高まりつつあるピックルボールを、他のミズノ施設よりも早く自主事業として採用し、定期的に教室を開催することにより市場や利用者のニーズを反映した自主事業プログラムを展開している。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	2	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	
個人情報の漏えい防止	個人情報の適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	【内部評価】 当初から積極的に市内業者や市民の雇用を行っていることは評価ができる。 自主事業については、独自性のある新規事業を企画するなど評価できるが、引き続き、利用促進や自主事業の展開を図ってもらいたい。
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	2	2	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	3	3	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	
	小計	21	16	16	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 事故発生時は迅速に処理対応し、都度報告している。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 市へ速やかに報告があり、適切に処理されている。
	小計	6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
指標の達成状況	(指標を設定している場合) 指標の達成状況は適当である。	3	2	2	【自己評価】 実利用者集計で昨年648,333人から647,833人に500人減少している。LED工事に伴う閉館の影響あり。
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	【内部評価】 (指標)年間利用者数31万人達成(平成30年度29.3万人)に対し、令和7年度末で28万9千人であり、現在もコロナ禍前より利用人数が戻っていない状況ではあるが、昨年度に比べ増加傾向にある。
	小計	6	4	4	

5 サービス向上の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	3	3	【自己評価】 施設内やHP上の案内掲示を定期的に確認し分かりやすい案内表示・タイムリーな案内表示を心掛けている。 総合体育館の券売機に加えて、カルチャーパーク・おおね公園でもキャッシュレスでの精算が可能な体制を整えた。新予約システムの稼働に向けてスタッフ教育に重点をおき、利用者の負担を軽減出来るよう移行推進を行った。 引き続き、秦野市の電子地域通貨「OMOTANコイン」の利用も促進している。利用者の声に先ずは真摯に耳を傾け、ご意見をアドバイスとして受け止めるよう心掛けている。 NPSアンケート結果の利用者満足度は90%以上と高い評価を受けている。利用者アンケートやHP上での問い合わせ等に迅速に対応し、苦情も含めて改善に生かしている。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	3	3	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	3	3	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	3	3	
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	3	【内部評価】 市直営当時に比べ、接遇(受付・電話対応)は向上しており、受付に翻訳機を常備するなど外国人への対応も行っている。 苦情等については、各施設の統一性を意識して対応はできており、情報共有など連携強化を行っている。 OMOTANコインを含む各種キャッシュレス決済に対応し、利用者へのサービス向上に取り組んでいる。
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	2	2	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		24	20	21	

6 収支状況(1/2)											単位:千円	
年度 項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	292,600	292,600	291,500	291,500	290,400	290,400	289,300	289,300			
	市補助金	0	18,786	0	0	0	9,514	0	9,347			
	利用料金	115,424	84,370	118,886	87,686	122,444	90,904	126,118	88,592			
	自主事業	12,249	3,781	13,054	8,700	13,134	12,077	13,134	14,134			
	その他	4,290	7,590	4,290	17,692	4,290	19,105	4,290	18,906			
	計	424,563	407,127	427,730	405,578	430,268	422,000	432,842	420,279	0	0	
支出	人件費	68,653	65,743	69,365	65,151	70,115	72,209	70,878	77,023			
	維持管理経費	245,210	224,439	247,606	231,891	250,219	239,140	252,448	234,623			
	自主事業	12,174	8,577	12,607	10,135	10,532	8,815	12,607	9,518			
	光熱水費	76,274	118,383	76,274	94,101	76,274	111,084	76,274	105,723			
	その他	22,252	18,463	21,878	23,684	23,128	20,702	20,635	20,590			
	計	424,563	435,605	427,730	424,962	430,268	451,950	432,842	447,477	0	0	
総計(収入－支出)		0	▲28,478	0	▲19,384	0	▲29,950	0	▲27,198	0	0	

6 収支状況(2/2)					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
適正な予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 光熱水費・人件費や物価高騰に伴い支出のコントロールが難しかった。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 一部の予算未達の項目はあるが、自主事業など改善されており、収支計画書に基づき適切に予算が執行されている。
	小計	6	4	4	

7 令和7年度 自己評価及び内部評価結果			
項目	配点	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理	18	13	13
2 施設の運営	21	16	16
3 危機管理対応	6	4	4
4 指標の達成状況・改善の取組み	6	4	4
5 サービス向上の取組み	24	20	21
6 収支状況	6	4	4
合計	81	61	62
配点に対する割合		75.3%	76.5%

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
施設全体にわたるLED工事に伴う利用料収入の減少や、急激な物価高騰や人件費の増大、昨年度に引き続き光熱水費の当初計画との乖離により、計画通りの運営が難しい1年だった。 そのような環境の中でも、施設の修繕等は綿密な計画により利用者に負担が掛からないよう、市との連携を図りながら優先度の高い案件から実施し安全安心な施設運営を心掛けた。	指定管理者の管理・運営が4年目となり、さらに安定し、受付対応に対する利用者からの苦情も概ねなく、管理・運営ができています。 自主事業については、指定管理者ミズノグループの特性を生かした新たな取組みに力を入れており、利用者及び収益の増加がみられるが、全体的には計画未達であるため、さらなる利用促進を図ってほしい。 昨年度の外部評価の意見があったSNSの活用については、ホームページを多言語化にするなど改善がみられるが、さらなる情報発信に努めてほしい。また、引き続き、アンケートを含めた利用者への意見を聞き、利用者へのサービス向上に努めてほしい。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象 年 度	令和7年度	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで			
施設名	クアーズテック秦野 カルチャーホール	指定管理 期 間	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで		
指定管理者	みんなの文化会館はだの パートナーズ	施設所管 部 課	文化スポーツ部文化振興課		

【自己評価及び内部評価の基準】

- 3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
- 2 要求水準を満たしている。
- 1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
- 0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】

- 《大変良好》
管理・運営は大変良好で、また優れた取り組みの成果がある。
- 《良 好》
管理・運営は良好である。
- 《概ね良好》
管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
- 《要 改 善》
管理・運営に課題があり、改善が必要である。

1 施設の維持管理

項目	評価視点	配点	自己 評価	内部 評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 設備機器の保守点検は法令に則って計画通り実施。第三者委託業務も仕様書に基づき実施、設備職員が現場に立ち会って監督した。また設備職員による日常点検、舞台職員の自主点検も適正運用した。 休館中も施設・敷地の清潔・美観を保つため、日常・定期清掃を継続。再開館後は清潔な状態で利用者をお迎えできた。 備品は開館に備えて総点検を実施し、不具合は修理対応した。秦野市からの備品貸出にも対応、市の財産が破損なく返却されるよう管理徹底した。 大規模改修が円滑に進行するよう工事業者との調整・連携業務を実施した。 開館前には、大規模改修で実施されなかった音響照明機材の不具合、返却されたピアノの不具合、工事の影響とみられる設備の不具合を事前に察知し、再開後の事故を未然に防いだ。 【内部評価】 工事期間中も立ち入り可能な部分の清掃、点検を行ったほか、休館に伴い別会場で実施する事業への物品の借用対応も行い、市の事業運営にも貢献した。 また、工事に伴い、工事主管課や工事業者との調整も行い、円滑な工事施工の一助となったほか、開館時にはできない舞台備品の保守等を行った。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	3	2	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	2	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	2	3	
第三者委託	第三者への委託に係る取扱いは、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取り組みを行っている。	3	2	2	
小計		18	13	14	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	2	2	【自己評価】 休館の延長を余儀なくされる中、アウトリーチ型自主事業、予約抽選会の館外実施などを実施し、必要なサービスを継続した。 アウトリーチ型の自主事業では、文化鑑賞のニーズのあった公民館や学校、福祉施設をはじめ、自社ホールを無償活用して35回にわたって実施。地域人材との連携により、安価で質の高い内容とし、アンケートによる満足度も非常に高かった。広報にも継続して取り組み、開館時と遜色ない地域とのコミュニケーションを図った。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	2	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	
個人情報の漏えい防止	個人情報の適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	3	3	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	2	2	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	【内部評価】 休館中は、学校や公民館等に出向き(アウトリーチ事業)、市民に質の高い文化・芸術の鑑賞機会を提供。本市で実施した全国報徳サミットでは、小中学校と連携し、丹沢讃歌のステージを作り上げた。また、「相模人形芝居」等の伝統芸能を身近に体験できる機会を設け、参加者からは好評であった。 新施設予約システムが2月から変更になった際は、リニューアルオープンへの準備もある中での対応であったため、システムのチェックが間に合わない部分もあった。
小計		21	16	16	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 消防計画に則り防災訓練を実施、設備の保守点検を通じ、安心安全な状態で開館した。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 日常点検、巡回警備、施設や備品の点検等を実施している。停電があった際も迅速に対応した。
小計		6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
指標の達成状況	(指標を設定している場合)指標の達成状況は適当である。	3	2	2	【自己評価】 休館中のアウトリーチ事業には延べ1,300人以上が参加。アンケートによる満足度も約99%と非常に高い結果が得られた。
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	【内部評価】 事業の動員数について事業計画書の年2,940人には達していないが、アンケートの観客満足度は90%を超えている。令和8年度については集客力のある事業の実施を期待したい。
小計		6	4	4	

5 サービス向上の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	2	2	【自己評価】 休館中の館外抽選会のためにマニュアルや説明資料を作成するなど、開館中と遜色のない円滑な対応に努めた。 自主事業のアンケート結果(784件)では「大満足」と「まあ満足」を加えた満足度ではおよそ99%と非常に高い結果となった。 休館中も利用団体の活躍を自社媒体で紹介するなど、広報面から利用者サービスに努めた。 施設の利用促進では自主企画事業を中心に自社媒体やチラシ、ホームページ、SNSなどで情報発信、オリジナル冊子も作成し、文化会館事業のPRを図った。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	2	2	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	2	2	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	2	3	【内部評価】 休館中も、タウンニュースやSNSを活用した広報を行った。タウンニュース秦野版「芸術文化通信harmonia」の発行や、「丹沢文化通信」での地域で活動する方々の紹介など、市内の文化芸術活動の発信も積極的に行い、地域に密着した広報活動を行っていた事は評価できる。 また、アウトリーチ事業においても、地元の人材を活用した事業展開を行った。普段、文化会館を利用しない方がアウトリーチ事業に参加したことにより、今後の来場者数に良い影響が現れることを期待したい。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	2	
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	2	3	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		24	16	18	

6 収支状況(1/2)											単位:千円	
年度 項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	170,888	170,888	166,963	166,963	140,136	140,136	133,419	133,419			
	利用料金	25,000	15,605	25,000	15,625	4,000	5,083	500	244			
	自主事業	34,000	63,351	52,600	38,545	9,600	6,668	1,795	2,241			
	その他	250	6,652	10,632	2,123	21	534		326			
	計	230,139	256,497	255,196	223,258	153,757	152,421	135,714	136,230	0	0	
支出	人件費	30,190	28,624	28,452	37,993	33,660	36,659	40,246	36,459			
	維持管理経費	121,944	122,476	118,944	100,270	87,495	72,335	89,280	84,533			
	自主事業	31,535	82,684	50,000	44,672	10,716	11,201	6,178	4,677			
	その他	46,470	50,563	57,800	43,268	21,886	19,627	10				
	計	230,139	284,346	255,196	226,201	153,757	139,822	135,714	125,669	0	0	
総計(収入－支出)		0	▲27,849	0	▲2,943	0	12,599	0	10,561	0	0	

6 収支状況(2/2)					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
適正な 予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 休館を理由に指定管理料を減額算定されたものの、維持管理業務の適正化、自主企画事業の内製化、簡易修繕の内製化、広報の効率化などを実施し、品質保持しながら効率化を図り、予算内で計画通り業務を実施した。 アウトリーチ事業では、企画制作の内製化、自社ホール施設の無償利用、地域人材との協業、収入確保策などにより、費用対効果を高めた。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 工事による休館や物価高騰の影響がある中で、自主事業を実施しつつ、黒字となったことは評価できる。
	小計	6	4	4	

7 令和7年度 自己評価及び内部評価結果			
項目	配点	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理	18	13	14
2 施設の運営	21	16	16
3 危機管理対応	6	4	4
4 指標の達成状況・改善の取組み	6	4	4
5 サービス向上の取組み	24	16	18
6 収支状況	6	4	4
合計	81	57	60
配点に対する割合		70.4%	74.1%

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
休館期間の延長を余儀なくされた中、施設の設置目的を果たすため、創意工夫で最大限の文化振興事業を継続できた。また、大規模改修後の原状復帰、開館に向けた準備や人員確保などの課題を整理し、無事に開館にこぎつけることができた。	休館という特殊な状況の中、アウトリーチ事業の実施により、市民への文化芸術に触れるの機会を提供した。令和8年度は、アウトリーチ事業に参加した方が、来館し、来場者数が増加するよう期待したい。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象 年 度	令和7年度	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで			
施設名	はだの丹沢クライミングパーク	指定管理 期 間	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで		
指定管理者	神奈川県公園協会・ 小田急電鉄共同事業体	施設所管 部 課	文化スポーツ部スポーツ推進課		

【自己評価及び内部評価の基準】

- 3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
- 2 要求水準を満たしている。
- 1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
- 0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】

- 《大変良好》
管理・運営は大変良好で、また優れた取り組みの成果がある。
- 《良 好》
管理・運営は良好である。
- 《概ね良好》
管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
- 《要 改 善》
管理・運営に課題があり、改善が必要である。

1 施設の維持管理

項目	評価視点	配点	自己 評価	内部 評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 《施設の維持管理》 ・協定書や仕様書に従い、適切な施設維持管理を行った。2月に広場に設置された野外彫刻については、秦野市との覚書に基づき適正に日々の点検を行った。 《施設の修繕》 ・ボルダリング場シャッター不具合について市への報告を遅滞なく行い、市・業者との確認作業をした。 ・ボルダリング場マット劣化状況の報告を遅滞なく行い、業者からの見積取得、市との確認作業をした。 《施設の清掃》 ・ボルダリング場の床の黒ずみ除去・ワックスがけを休館日を利用して職員総出で直営で行った。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	3	2	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	3	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	2	2	【内部評価】 《施設の修繕》 ・シャッターやマットなど施設設備の不具合について、市に都度報告、修繕などきちんと対応している。直営作業で床のワックスがけを行っているが、それ以外にも修繕の未然防止として対策を心掛けてほしい。 《施設の清掃》 ・利用者へのアンケート結果では、施設の清潔さにおいては98%以上が「満足」と回答している。
第三者委託	第三者への委託に係る取扱い、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取り組みを行っている。	3	2	2	
小計		18	14	13	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	3	3	【自己評価】 《設置目的等の理解》 ・協定書や仕様書に基づき管理運営を行い、コーチ2資格者4人、コーチ1資格者1人の計5人の資格者を配置し、より安全に魅力ある施設運営、クライミングの普及振興が出来た。さらに、4館調整会議や4者会議により山岳スポーツセンターと連携して一体的な運用を図った。 《サービスの提供》 ・HP混雑状況も内容を追加してより分かり易く確認できるようにした。 ・ルートセッターや職員によるお手本動画をSNS上で公開し、サービスの向上を図った。 《自主事業の成果》 ・自主事業として、大人のためのボルダー大会を主催し、競技の普及に貢献した。 ・物販、自販機事業を実施し、サービス向上に務めた。 ・イベント(親子でボルダー体験)を実施して競技の普及に努めた。参加者は28名と前年度に引き続き人気を継続した。初心者に対してボルダーの裾野を広げるきっかけとすることができた。 ・大会開催時にキッチンカーを誘致し、賑わいの創出を図った。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	3	3	《個人情報の漏えい防止》 ・個人情報関係資料は施錠できるロッカーに保管している。また誓約書データをUSBメモリーに取込み、大型金庫に保管し管理を徹底している。 《地域との関わり》 ・県山岳連盟等関係団体と連携し、教室や大会運営を行った。 ・委託(清掃、警備、修繕等)では市内の事業者を選定した。 ・県山岳連盟や県と連携して選定されたJMCSAの次世代アスリート育成プロジェクトの拠点施設として、JMCSAユース強化練習会を行った。
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	【内部評価】 《設置目的等の理解》 ・昨年度に新たに1名がコーチ1の資格を取得し、より安全な施設運営に寄与した。 《サービスの提供》 ・ホームページの混雑状況の表示は、表示の種類を4種類から6種類に増やし、わかりやすいアンケートでも好評だった。 《自主事業の成果》 ・大人のボルダー大会は普段大会に出ない層の利用者に参加してもらったことで、ボルダーに対してより深い親しみや充実感を感じてもらえ、施設のリピーターへつながっていく事業として成功した。多量な業務の中、人件費も限られているが、利用者の潜在的なニーズを拾い上げるような事業を展開してほしい。 《地域との関わり》 ・2026年1月にJMCSAユース強化練習会として、表丹沢野外活動センターとクライミングパークを拠点として合宿が行われ、次世代の選手育成に貢献した。
個人情報の漏えい防止	個人情報を適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	3	3	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	2	2	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	
小計		21	18	18	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 《事故発生時の対応》 ・事故対応体制を確立し、関係機関との情報共有を図りつつ対応に当たった。 《事故防止の対応》 ・日頃より、積極的に事故防止のための声掛けを適切に行っている。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 ・事故発生時の対応は適切な処理がなされていた。また、事故を防止するための声掛け、初めて訪れた利用者への説明などは、日頃より適切に実施されている。(令和7年度事故報告1件)
小計		6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
評価対象外					

5 サービス向上の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	3	3	【自己評価】 《利用者への案内》 ・利用者への案内は、掲示に加えてSNSでの案内も適宜実施するなど誰にでも分かりやすい案内に務めた。 ・混雑状況をHPでヘッダー確認できるようにした。 ・ルートセッターのお手本動画を上げるなどSNS発信を工夫した。 《利用しやすい環境整備》 ・施設を清潔に保ち利用しやすい環境整備を行った。 ・熱中症対策としてボルダー室内にサーキュレーターを設置して利用者の安全を図った。 ・キャッシュレス決済を導入した。 《アンケート結果》 ・アンケート結果の施設ののお勧め度で高評価を頂いた。 《サービスの質の向上》 ・利用者の意見等を定期的に確認し、ルートセット時に要望を取り入れる等、継続的にサービスの質の向上に取り組んだ。 《施設の利用促進》 ・利用促進として市内学校、事業所、公共施設等に山岳SCと共同作成したチラシ配布、小田急電鉄(株)による駅構内、駅前での広報・PR等を実施した。 ・秦野戸川公園、山岳SCと協働し、「泊まって欲張りスポーツクライミング体験〜川遊びと夕食はみんなでBBQ〜」を実施した。 ・平日の利用促進のため、平日のサービスデーを継続した。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情等も無く、利用者からの要望に対し必要な改善に取り組んだ。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	3	3	【自己評価】 《利用者への案内》 ・利用者への案内は、掲示に加えてSNSでの案内も適宜実施するなど誰にでも分かりやすい案内に務めた。 ・混雑状況をHPでヘッダー確認できるようにした。 ・ルートセッターのお手本動画を上げるなどSNS発信を工夫した。 《利用しやすい環境整備》 ・施設を清潔に保ち利用しやすい環境整備を行った。 ・熱中症対策としてボルダー室内にサーキュレーターを設置して利用者の安全を図った。 ・キャッシュレス決済を導入した。 《アンケート結果》 ・アンケート結果の施設ののお勧め度で高評価を頂いた。 《サービスの質の向上》 ・利用者の意見等を定期的に確認し、ルートセット時に要望を取り入れる等、継続的にサービスの質の向上に取り組んだ。 《施設の利用促進》 ・利用促進として市内学校、事業所、公共施設等に山岳SCと共同作成したチラシ配布、小田急電鉄(株)による駅構内、駅前での広報・PR等を実施した。 ・秦野戸川公園、山岳SCと協働し、「泊まって欲張りスポーツクライミング体験〜川遊びと夕食はみんなでBBQ〜」を実施した。 ・平日の利用促進のため、平日のサービスデーを継続した。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情等も無く、利用者からの要望に対し必要な改善に取り組んだ。
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	【自己評価】 《利用者への案内》 ・利用者への案内は、掲示に加えてSNSでの案内も適宜実施するなど誰にでも分かりやすい案内に務めた。 ・混雑状況をHPでヘッダー確認できるようにした。 ・ルートセッターのお手本動画を上げるなどSNS発信を工夫した。 《利用しやすい環境整備》 ・施設を清潔に保ち利用しやすい環境整備を行った。 ・熱中症対策としてボルダー室内にサーキュレーターを設置して利用者の安全を図った。 ・キャッシュレス決済を導入した。 《アンケート結果》 ・アンケート結果の施設ののお勧め度で高評価を頂いた。 《サービスの質の向上》 ・利用者の意見等を定期的に確認し、ルートセット時に要望を取り入れる等、継続的にサービスの質の向上に取り組んだ。 《施設の利用促進》 ・利用促進として市内学校、事業所、公共施設等に山岳SCと共同作成したチラシ配布、小田急電鉄(株)による駅構内、駅前での広報・PR等を実施した。 ・秦野戸川公園、山岳SCと協働し、「泊まって欲張りスポーツクライミング体験〜川遊びと夕食はみんなでBBQ〜」を実施した。 ・平日の利用促進のため、平日のサービスデーを継続した。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情等も無く、利用者からの要望に対し必要な改善に取り組んだ。
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	2	3	【自己評価】 《利用者への案内》 ・利用者への案内は、掲示に加えてSNSでの案内も適宜実施するなど誰にでも分かりやすい案内に務めた。 ・混雑状況をHPでヘッダー確認できるようにした。 ・ルートセッターのお手本動画を上げるなどSNS発信を工夫した。 《利用しやすい環境整備》 ・施設を清潔に保ち利用しやすい環境整備を行った。 ・熱中症対策としてボルダー室内にサーキュレーターを設置して利用者の安全を図った。 ・キャッシュレス決済を導入した。 《アンケート結果》 ・アンケート結果の施設ののお勧め度で高評価を頂いた。 《サービスの質の向上》 ・利用者の意見等を定期的に確認し、ルートセット時に要望を取り入れる等、継続的にサービスの質の向上に取り組んだ。 《施設の利用促進》 ・利用促進として市内学校、事業所、公共施設等に山岳SCと共同作成したチラシ配布、小田急電鉄(株)による駅構内、駅前での広報・PR等を実施した。 ・秦野戸川公園、山岳SCと協働し、「泊まって欲張りスポーツクライミング体験〜川遊びと夕食はみんなでBBQ〜」を実施した。 ・平日の利用促進のため、平日のサービスデーを継続した。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情等も無く、利用者からの要望に対し必要な改善に取り組んだ。
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	3	3	【内部評価】 《利用者への案内》 ・掲示物は整理されており、常に最新のものに更新され、見やすく工夫されている。 《利用しやすい環境整備》 ・施設内は整理整頓されており、通路等に不要なものなども置いておらず、手洗い場や荷物棚など、全体的に清潔である。サーキュレーターの設置についても利用者の安全に配慮しており評価できる。 《接遇》 ・アンケート結果では、スタッフに対して「親切」との声が多く聞かれた。 《施設の利用促進》 ・ルートセッターのお手本動画は利用促進につながっているが、他の投稿については施設予定の更新が主となっているため、より幅を広げた内容にするなど工夫し、更新頻度を上げることを検討してほしい。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情やトラブルなく施設運営できた。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 《利用者への案内》 ・掲示物は整理されており、常に最新のものに更新され、見やすく工夫されている。 《利用しやすい環境整備》 ・施設内は整理整頓されており、通路等に不要なものなども置いておらず、手洗い場や荷物棚など、全体的に清潔である。サーキュレーターの設置についても利用者の安全に配慮しており評価できる。 《接遇》 ・アンケート結果では、スタッフに対して「親切」との声が多く聞かれた。 《施設の利用促進》 ・ルートセッターのお手本動画は利用促進につながっているが、他の投稿については施設予定の更新が主となっているため、より幅を広げた内容にするなど工夫し、更新頻度を上げることを検討してほしい。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情やトラブルなく施設運営できた。
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	3	2	【内部評価】 《利用者への案内》 ・掲示物は整理されており、常に最新のものに更新され、見やすく工夫されている。 《利用しやすい環境整備》 ・施設内は整理整頓されており、通路等に不要なものなども置いておらず、手洗い場や荷物棚など、全体的に清潔である。サーキュレーターの設置についても利用者の安全に配慮しており評価できる。 《接遇》 ・アンケート結果では、スタッフに対して「親切」との声が多く聞かれた。 《施設の利用促進》 ・ルートセッターのお手本動画は利用促進につながっているが、他の投稿については施設予定の更新が主となっているため、より幅を広げた内容にするなど工夫し、更新頻度を上げることを検討してほしい。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情やトラブルなく施設運営できた。
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 《利用者への案内》 ・掲示物は整理されており、常に最新のものに更新され、見やすく工夫されている。 《利用しやすい環境整備》 ・施設内は整理整頓されており、通路等に不要なものなども置いておらず、手洗い場や荷物棚など、全体的に清潔である。サーキュレーターの設置についても利用者の安全に配慮しており評価できる。 《接遇》 ・アンケート結果では、スタッフに対して「親切」との声が多く聞かれた。 《施設の利用促進》 ・ルートセッターのお手本動画は利用促進につながっているが、他の投稿については施設予定の更新が主となっているため、より幅を広げた内容にするなど工夫し、更新頻度を上げることを検討してほしい。 《苦情等への対応》 ・大きな苦情やトラブルなく施設運営できた。
小計		24	20	20	

6 収支状況(1/2)											単位:千円	
年度 項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	21,036	21,036	20,891	20,891	21,301	21,301	20,891	20,891			
	利用料金	6,760	8,124	6,760	8,216	6,760	9,195	6,760	9,429			
	自主事業	379	333	379	287	379	290	379	284			
	その他	0	131									
	計	28,175	29,624	28,030	29,394	28,440	30,786	28,030	30,604	0	0	
支出	人件費	18,216	18,304	18,784	18,856	19,044	19,734	19,044	21,594			
	維持管理経費	4,279	4,610	4,218	3,167	4,230	3,991	4,309	3,321			
	自主事業	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	5,680	6,028	5,028	5,979	5,166	6,375	4,677	5,822			
	計	28,175	28,942	28,030	28,002	28,440	30,100	28,030	30,737	0	0	
総計(収入－支出)		0	682	0	1,392	0	686	0	▲133	0	0	

6 収支状況(2/2)					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
適正な予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 《経費の効率化》 ・利用収入増に取り組んだ他、光熱水費高騰等を吸収すべく支出調整や業務直営化による支出抑制等を行った。 ・植栽・除草・枝剪定・床ワックス施工・ホールド外し、洗浄作業・ルートセットなど職員で行うことで外部支出を削減した。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 ・人件費の支出について、前年度決算額より約186万円増加している。神奈川県公園協会の給与は神奈川県との給与体系表に準拠しており、令和7年度に改定があったことから、館長、専門員、パート等すべての職種の月例給、ボーナスともに令和7年4月から引き上げされた。館長、専門員の月例給及びパートの時給は前年度比約10～15%増、さらに館長、専門員のボーナスについても前年度比0.8か月分増しており、大幅な人件費増加につながった。
小計		6	4	4	

7 令和7年度 自己評価及び内部評価結果			
項目	配点	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理	18	14	13
2 施設の運営	21	18	18
3 危機管理対応	6	4	4
4 指標の達成状況・改善の取組み	－	－	－
5 サービス向上の取組み	24	20	20
6 収支状況	6	4	4
合計	75	60	59
配点に対する割合		80.0%	78.7%

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
昨年度に引き続き県山岳連盟と連携した教室開催、小田急による広報・PR等を行った他、「泊まって欲張りスポーツクライミング体験～川遊びと夕食はみんなでBBQ～」など、山岳SCや秦野戸川公園、秦野ビジターセンターと連携した広報やイベントを実施、大人のためのボルダー大会開催等によりクライミングの普及に努めた。 利用料収入は前年度比2.4%増、施設利用者数は前年度と同程度の16,806人であったが、付添・見学を含む来場者数は28,254人と前年度比4.7%増であり、秦野市スポーツ推進計画で掲げられた令和10年度の目標値28,000人を達成した。 また、HP上での混雑状況確認システム、SNSでのお手本動画配信の継続、サーキュレーター導入等により、利便性と利用環境の向上に取り組んだ。 今後も協定書や仕様書等に従い適切な管理を行う他、施設の魅力向上に継続して努めていきたい。	今年度は市制施行70周年と施設開館5周年のメモリアルイヤーということで、10月のはだの丹沢カップでは東京オリンピックで銅メダルを獲得した野口啓代さんを招待するなど、より一層の施設の周知やクライミングの普及に励んだ。 利用者数は前年度と同程度であったが、子どもから大人まで楽しめるイベントを多岐にわたり開催し、付き添い・見学を含む来場者数は前年度比4.7%増と、市内外からも多くの支持を得る施設に成長している。 収支においては、最低賃金の上昇や物価上昇の中、直営作業により支出を圧縮するなど工夫されているが、当年度予算額に対し、△133千円となっている。 平日利用の強化による利用収入の増はもとより、自主事業については今後さらに発展する余地があるため、利用者の意見を聞きながら、より魅力ある事業の開催など枠にとらわれない発想で展開していただきたい。 8月に行われた利用者アンケートでは、施設の清潔さやスタッフの対応など総合的に満足度の高い施設である結果が示されたが、ステップアップにつながる取組やファミリー層への働きかけなど、平日の利用者数の増加に向けて、さらなる魅力向上に努めてもらいたい。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象 年 度	令和7年度	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで			
施設名	表丹沢野外活動センター	指定管理 期 間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで		
指定管理者	MGMグループ	施設所管 部 課	環境産業部観光振興課		

【自己評価及び内部評価の基準】

- 3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
- 2 要求水準を満たしている。
- 1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
- 0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】

- 《大変良好》
管理・運営は大変良好で、また優れた取り組みの成果がある。
- 《良 好》
管理・運営は良好である。
- 《概ね良好》
管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
- 《要 改 善》
管理・運営に課題があり、改善が必要である。

1 施設の維持管理

項目	評価視点	配点	自己 評価	内部 評価	履行状況
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 各項目水準は満たしている。
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	2	2	
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	2	3	
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	2	2	【内部評価】 利用者が重視するポイントとなっている「施設の清潔感」は、アンケート結果において、満足度の高い結果となっている。 また、経年劣化による設備の不具合については、優先度の高いものから順に修繕対応しており、施設の適切な維持管理が図られている。
第三者委託	第三者への委託に係る取扱いは、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2	
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取り組みを行っている。	3	2	2	
小計		18	12	13	

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	2	2	【自己評価】 各項目水準は満たしている。 自主事業の成果では、新たに雨天対応型BBQサービスを実施、従来のBBQサービスより予約割合は高い水準となっている。 いろいろ棟の利用率は31%向上。平日利用も増加となる。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	3	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	
個人情報の漏えい防止	個人情報の適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 全天候型BBQスペースの整備や、ジビエを活用したイベントの実施など、工夫を凝らした自主事業により誘客に努めている。 また、いろいろ棟専用のBBQスペースを整備したことにより、稼働率の向上が図られた。
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	2	2	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	
	小計	21	15	16	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 緊急対応マニュアルは見直し更新を行い、常に改善に努めている。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	【内部評価】 緊急対応マニュアルに基づいた訓練や、遊具点検の実施など、事故防止への対応が行われている。
	小計	6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
指標の達成状況	(指標を設定している場合)指標の達成状況は適当である。	3	2	2	【自己評価】 計画、指標に対して適当であった。
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	【内部評価】 消防点検の指摘事項について、迅速な改善が図られた。
	小計	6	4	4	

5 サービス向上の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	2	2	【自己評価】 要求水準は満たしている。 ネット評価(グーグル、なっぶ等)は良好を維持出来ている。なっぶ県内キャンプ場評価おすすめ順位 3/105位、口コミ順位8/105位、昨年11/104位から順位及び評価が上がっている。 施設の利用促進ではジビエイベントを実施。予約は完売。参加者の中から新規施設利用者の獲得にも繋がる。SNSでの閲覧数は通常時の凡そ4倍となり、情報発信としての効果も良好となった。
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	2	2	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にばらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	2	2	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	2	3	【内部評価】 丁寧な接客が行われており、利用者アンケートにおいて、高評価を得ている。 減免団体をはじめとした一部の客がマナーを守っていない事例が散見されるため、改めてルールの周知徹底が必要である。 今後、利用者から要望されている「食材提供」が実現すれば、利用促進が期待できる。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	2	
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	3	3	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		24	17	18	

6 収支状況(1/2)										単位:千円	
項目	年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	39,990	39,990	39,990	39,990	39,990	39,990				
	利用料金	15,665	15,411	12,998	18,020	15,408	19,417				
	自主事業	3,318	4,299	4,270	5,802	4,299	7,723				
	その他	870	86	170	162	86	88				
	計	59,843	59,786	57,428	63,974	59,783	67,218	0	0	0	0
支出	人件費	24,700	26,807	26,520	29,855	27,779	30,311				
	維持管理経費	31,915	32,536	30,562	30,870	28,187	29,304				
	自主事業	3,228	2,693	346	1,903	3,817	6,556				
	その他	0	0	0	0	0	0				
	計	59,843	62,036	57,428	62,628	59,783	66,171	0	0	0	0
総計(収入－支出)		0	▲2,250	0	1,346	0	1,047	0	0	0	0

6 収支状況(2/2)					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況(内部評価)
適正な 予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 支出増には売上増施策にて対応出来ている状態を維持。
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 人件費高騰や設備投資により、支出が増加したが、自主事業による収入も増加したため、収支上概ね予算を達成することができた。
	小計	6	4	4	

7 令和7年度 自己評価及び内部評価結果			
項目	配点	自己評価	内部評価
1 施設の維持管理	18	12	13
2 施設の運営	21	15	16
3 危機管理対応	6	4	4
4 指標の達成状況・改善の取組み	6	4	4
5 サービス向上の取組み	24	17	18
6 収支状況	6	4	4
合計	81	56	59
配点に対する割合		69.1%	72.8%

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
運営では水準を満たしつつ、サービス全体の改善、向上を実施出来る体制となってきた。 例年に比べ支出増が大いだが、自主事業サービス向上策での支出割合が主に該当する。今期取組が来季以降の収入増を見込む。引き続き先行した取組を実施していく。	指定管理者として3年目を迎え、自主事業の拡大によって利用者が増加するとともに、アンケートにおいても、満足度の高い評価を維持している。引き続き、山岳・里山アクティビティの拠点として、観光客向けの体験プログラムを充実させるなど、更なる魅力向上に取り組まれない。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見